

令和元年度 成年後見制度周知ワーキング（どこだれ部会）  
検討状況報告書

令和2年2月3日 更新

ワーキング メンバー	第6回ワーキングメンバー 相談支援センターふかさわ:五十君 事 障害者相談支援センターとちお:諸橋 事 長岡市障害者基幹相談支援センター:五十嵐、高橋 ※事 は事務局
取り扱う課題	精神障害者の地域移行について、「身元引受人」がないという課題。 →成年後見制度で担える部分があるため、制度を周知するための研修会をH30年度に実施した。
取組方針	H30年度に実施した支援者向け研修会の効果及び成果等の確認を目的としたモニタリングを実施する。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修参加者を対象として、研修会参加後の成年後見制度の手続き等に関する調査の実施。</li> <li>・今後の研修会実施継続に伴う確認を実施する。</li> </ul>
開催日	取組・検討内容
【第1回】 令和元年5月14日	○ワーキングの立ち上げの経緯から前年度の研修会実施までの活動内容についてメンバーで確認、今年度の活動方針について協議を行った。 ・今年度の活動内容は、昨年度の活動（成年後見制度周知のための研修会）のモニタリングを予定していた。「周知」を目的に立ち上がったワーキングであり、昨年度、周知のために研修会を実施していることで、ワーキングとしての機能は終了しているのではないかと意見があがった。 また制度そのものの周知を目的とするのであれば、他で実施している研修もある。また、成年後見制度の普及・啓発は、長岡市社協が実施している。以上を踏まえ、ワーキングの目的を達成しているため、終了してはどうかという結論になった。
【第2回】 令和元年8月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月の運営会議での結果（成年後見制度周知のワーキングだが、研修会の効果や成果を確認して次につなぐためのモニタリングは必要）を踏まえ、アンケートを実施することとし、調査内容について検討を行った。</li> <li>・アンケート対象者は、研修会参加者全員（34名）とし、異動のあった方も可能な限り協力してもらおう。アンケートにて、研修会後の実務に活かされたかどうか等や、今後の研修会についての意見を確認する。</li> </ul>
【第3回】 令和元年10月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果の考察とワーキングのまとめ（モニタリング結果を踏まえ、どうするか検討した。</li> <li>・アンケート結果から、実務に活かせており、研修の効果はあったと思われる。研修についての問いでは、現在実施されている研修会で足りているが67%であった。要望としては、周知を目的とした研修や実務に近い内容を求める意見があった。周知についての取組みは必要であり、市民向け</li> </ul>

	<p>の講座や広報等の活用などの意見もあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会を実施しての効果は確認できたことと、制度の周知は継続していく必要があることから、成年後見制度に携わっている県弁護士会、県司法書士会、県社会福祉士会及び、周知団体の長岡市福祉総務課と長岡市社協につなげたらどうかと考えている。</li> </ul>
<p>【第4回】 令和元年11月26日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートのまとめ方と関係機関へのつなぎ方（情報提供）について検討した。鑑文、アンケートの集計結果（報告書）とアンケートのまとめを送付することとした。報告書には、ワーキングの立ち上げからの経緯と研修参加者の内訳も記載する。</li> <li>・次回のワーキングで、情報提供の方法について、市社協権利擁護支援課の中川係長と研修講師の多田社会福祉士から話を聞くことにした。</li> </ul>
<p>【第5回】 令和元年12月10日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協の中川係長、多田社会福祉士に参加してもらい、アンケート結果から見えた必要な取り組みを、どのようにつなげたらよいか検討した。</li> <li>・市社協では窓口相談の他にも周知や利用促進のためにセミナーや出前講座等の取組みを継続していることや、新潟県内は、士業（社会福祉士会・弁護士会・行政書士会・税理士会など）の横のつながりが良好なので、要望事項には対応してくれるとの情報がもたらえた。</li> <li>・市社協の成年後見事業運営委員会（12/11開催）にて、ワーキングの取組についての情報提供を行うことを三士会にお知らせする。</li> </ul>
<p>【第6回】 令和2年2月3日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキング取組みのつなぎ方の検討と今年度の振り返りを行った。アンケート結果の送付先は、制度に携わっている機関（三士会、長岡市社協、市福祉総務課）と関係事業所（研修会対象機関である病院、相談支援事業所、サービス提供事業所）とする。送付文書には、相談窓口（社協の権利擁護支援課）を明示。送付書類等は、①送付文②アンケート集計結果③成年後見制度に関する実態調査の結果について ④長岡市社協の作成の成年後見制度のパンフレット（関係事業所のみ）とする。</li> <li>・研修会の成果を確認することができたことと、関係機関に結果についての情報提供をすることで、ワーキングは終了としたい。</li> </ul>
<p>今後の検討の方向性</p>	<p>モニタリング結果を関係事業所と成年後見制度の実施先（三士会）につなげ、それぞれの取り組みの参考としてもらう（ワーキングとしては終了）。</p>
<p>運営会議への伝達事項等</p>	<p>アンケート結果の送付先、送付文書の内容について意見及び承認をいただきたい。承認後、関係機関に報告する。</p>